

## 令和6年度渡島西部四町議会議員連絡協議会研修報告について

研修日時	令和7年2月18日（火） 15:50～16:50
研修会場	福島町（福島町福祉センター）
研修事項	「教えることは、教わること」  議員の学校は、議会を育てる一つの手法  栗山町議会  副議長 齊藤義崇氏
参加議員	藤山 大、佐藤孝男、小鹿昭義、平沼昌平、木村 隆、 平野隆雄、溝部幸基
同行職員	事務局長 鍋谷浩行、係長 山下貴義、主任 角谷里紗 会計年度任用職員 熊谷治子

# 「教えることは、教わること」議員の学校は、議会を育てる一つの手法

栗山町議会副議長、議会改革推進会議座長  
齊藤 義崇

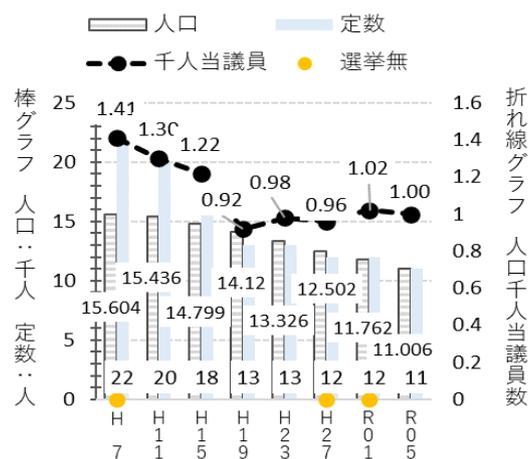
## 1 はじめに

栗山町議会では、令和元年からの4年間「定数と報酬に関する調査特別委員会」において、「議員のなり手不足を考える小委員会」が設置され、町民から公募している議会モニターとの調査で議員の養成講座開設の意見が出された。議員のなり手を育成する土壌づくりや、議会議員選挙が重要であることが再認識できた。この「議員の学校」は、特別委員会の調査結果を受け、議会改革推進会議が主体的に行った取り組みである。

ここでは準備から実施に至る経過をまとめ、私が感じた、その概要と効果、今後の課題をまとめた。

## 2 栗山町の概要

栗山町は人口約11,000人、南に千歳空港・苫小牧港、西に札幌市が自動車で1時間圏距離の南空知に位置する。面積は約203km<sup>2</sup>、世帯数約5,800世帯である。東には夕張市が隣接する。人口は減少しており、栗山町では24年前は15,436人、有権者数12,350人、議員定数は20人であったが、令和5年は、11,006人、有権者数9,574人、議員定数は11となっている。(図表1)



図表1 栗山町の人口と定数の推移

## 3 議員の学校の内容と経過

### (1) 開催の事前準備

議員の学校の原案作成には、議会事務局とも多くの時間を費やし、議長、副議長、議会運営委員長、副委員長(座長兼務)の4名による事前協議を都度開催した。議会議員選挙の候補者を育てる「議員の学校」の開催は、対立候補を育てることになるためか、快く思わない同僚議員もいたようだ。開催のために論理根拠をしっかりと構築する必要があったため、事前協議は綿密に行った。

### (2) 目的を明確に据える

議会議員選挙まで期限も迫っており、時間的な制約も考慮しなければならない。工夫をしつつ最大限の研修効果をどう求めるか、研修計画の策定は悩みでもあった。本来の目的は選挙で議員

を選ぶことにあり、「議員の学校」の卒業生が立候補することにある。これは自主的な行為であるが、動機付けを与えるだけでは、議会や議員活動の本質を見失う危険もある。

実施の要点を4つに定めた。

- ① 議員活動を知ってもらう機会とする。
- ② 議会・議員の大原則は正確に伝える。
- ③ 体験・実地・演習ができる工夫をする。
- ④ 参加者は町内外を問わない。

目的は次の4つに定めた。

- ① 町内参加者には、町政課題に興味を持ってもらい、立候補の動機付けとなること。
- ② 選挙に関する質問は、時間内外問わず政治活動として伝達する。
- ③ 研修の前後に必ず要点や反省点などについて意見を交わす。
- ④ この活動により得られた知見は、必ず今後の栗山町議会活動に役立てる。

このような実施目的を打ち出し、「議員の学校」の開催を目指した。

### (3) 学校運営の体制をお手本に

参加者を「生徒」、議長を「校長」、副議長を「教頭」、議会改革推進会議の座長を「担任教諭」、他の議員をそれぞれ「先生」とした。学校運営を模倣した実施体制とし、役割を明確にすることで、教える側の一体感が、参加者である生徒に伝わるよう工夫した。

## 4 実施された講座の内容

### (1) 参加者の実際

議会の活動を周知することも目的であり、議会モニターにも参加を促した。町外の参加者は、新聞報道などを目にし、8名が参加した。(図表2)近郊は由仁町、遠方は東京都からも参加があった。議員を志す人、考えている人、議会活動を知る機会にしたいなど、学ぶ意欲が感じられた。

性別	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計	平均
男	1	1	5	7	1	2	17	51.1歳
女	0	1	0	0	0	1	2	56.0歳
合計	1	2	5	7	1	3	19	51.6歳
性別	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計	
男	0	1	3	5	0	1	10	
女	0	0	0	0	0	1	1	
合計	0	1	3	5	0	2	11	単位：人

図表2 「議員の学校」参加者の年齢構成と性別(上段:全体 下段:町内)

### (2) 講座のカリキュラム

カリキュラムの編成についても工夫をした。カリキュラムは全6回とし、1時間目、2時間目は、昼の部・夜の部の2部構成での開催とした。(図1、図2)

1時間目は地方議会の原則や議員の権限について、二元代表制など法律の建付け、議会と議員の基礎知識を講義。

2時間目は現職議員をそれぞれ先生に、事前に統一の聞き取り表を各議員に書いてもらい、それを配布資料とした。

3～5時間目は、議会活動として、議会運営委員会、本会議での一般質問、予算審査特別委員会での審議の実際を傍聴してもらった。各講座とも30分前に集合し、その日に行う内容を「担任教諭」がガイダンスした。終了後は、質問や質疑を行った議員を先生に質疑応答を行った。

6時間目は、1～5時間目の研修の総仕上げとして模擬議会を実施した。

また、休憩時間などを利用して、生徒相互の意見交換も活発に行われていた。議会や議員に対する関心や興味が高まっていることが伺えた。

### (3) 模擬議会

模擬議会の題材は2月に開催された臨時会議の議案をそのまま用いた。栗山町議会の本会議はライブ以外にオンデマンド配信を行っており、①生徒が予習できる、②実際の議案審議の質疑がお手本になる、③本会議の空気やイメージが掴みやすいこと、を狙いとした。

議案は、除雪費に関する補正予算と特別委員会付託議案の報告の議決である。審議案件が少ないことや、除雪の話題は、住民の関心事項であり、教材に適していると考えた。

本番さながらの緊張感を持つため、役割分担は、議長は「議長」を務め、副議長は「町長」、議会運営委員長は「副町長」、議会推進会議座長は「建設課長」に扮し、各議員も各課所長となった。ライブ配信はしないものの、普段の本会議と同じ体制で臨んだ。

模擬議会では、自由闊達な質疑がなされた。事前に道路事情を調べ、論理根拠を示し質疑する生徒など、議員顔負けの質疑が相次いだ。一方で答弁は「町長」役と「建設課長」が主に行った。質疑は的を射ており、苦しい答弁となる場面もあった。

その後、修了式を行い、学校は閉校した。(写真1、2)



写真1 「模擬議会」で答弁する建設課長役



写真2 閉校式で挨拶する副町長役

開校!

# 議員の学校

議会って何をするとところ?議員は普段どんな活動をしているの?  
議員のやりがいは?  
議員を目指す人のさまざまな疑問を解決し、議員になるための  
「いろは」を全6回で学びます。



## 開催日程・開催場所・開催内容

	日時	場所	内容
第1回	令和5年2月20日(月) 昼の部:15時から 夜の部:18時から	役場3階 議員控室	開校式 議会のキホン~議会と議員の役割~
第2回	令和5年2月24日(金) 昼の部:15時から 夜の部:18時から	役場3階 議員控室	議員に聞いてみよう ~議員活動の実際~
第3回	令和5年2月28日(火) 9時30分から	役場3階 委員会室	傍聴してみよう ~議会運営委員会編~
第4回	令和5年3月8日(水) 9時30分から	議場	傍聴してみよう ~定例会議 一般質問編~
第5回	令和5年3月13日(月) 9時30分から	議場	傍聴してみよう ~予算審査特別委員会編~
第6回	令和5年3月17日(金) 13時から	役場3階 議員控室	閉校式 全日程のまとめ

各回約90分です。終了後毎回、議員と懇談する時間を設けています。ご都合のつく方はご参加ください。  
注:「傍聴してみよう」の回は、終了時間は未定です。

**参加対象** 18歳以上の栗山町議会議員を目指している方、または関心のある方。  
栗山町民以外でも参加できます。

**申し込み方法** お電話・FAX・メールで、下記申し込み先まで「氏名・住所・  
生年月日・電話番号」をご連絡ください。

**申し込み・お問い合わせ** 栗山町議会事務局 栗山町松風3丁目252番地  
電話:0123-73-7517 FAX:0123-72-1233  
メール:gikai-jimukyoku@town.kuriyama.hokkaido.jp

**締め切り日** 令和5年2月15日(水)

図1 「議員の学校」の案内方法とカリキュラム

※実際に配布したチラシ・ポスター表面の原図



# 議員の学校カレンダー



## 2023 2月

日	月	火	水	木	金	土
19	20	21	22	23	24	25
	第1回議員の学校の部 15:00 から 夜の部 18:00 から 《内容》開校式 議会のキホン～議会と議員の役割～				第2回議員の学校の部 15:00 から 夜の部 18:00 から 《内容》議員に聞いてみよう～議員活動の実際～	
26	27	28				
		第3回議員の学校の部 9:30 から 《内容》傍聴してみよう～議会運営委員会～				

## 2023 3月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
				3月定例会議 1日目		
5	6	7	8	9	10	11
			第4回議員の学校の部 9:30 から 《内容》傍聴してみよう～定例会議 一般質問～			
			3月定例会議 2日目	3月定例会議 3日目		
12	13	14	15	16	17	18
	第5回議員の学校の部 9:30 から 《内容》傍聴してみよう～予算審査特別委員会～				第6回議員の学校の部 13:00 から 《内容》開校式 全日程のまとめ	
	予算審査特別委員会 1日目	予算審査特別委員会 2日目	予算審査特別委員会 3日目	予算審査特別委員会 4日目	3月定例会議 4日目	

※3月定例会議の日程は予定です。



定例会議、特別委員会、委員会は、「議員の学校」開催日以外も自由に傍聴することができます。開催日はホームページ等でご確認ください。

また、すべてライブ中継を行っており、定例会議、特別委員会については録画配信も行っています。ぜひご覧ください！



図2 「議員の学校」のスケジュール

※実際に配布したチラシ・ポスター裏面の原図

## 5 まとめと課題

### (1) 議員の学校と選挙出馬

令和5年4月に実施された栗山町議会議員選挙は、立候補者は14名、定数11を争う12年ぶりの選挙となった。立候補者は現職8名、元職1名、新人5名で選挙戦が行われた。結果は、現職6名、元職1名、新人4名が当選し、現職2名を含む3名が落選した。(図表3)

「議員の学校」の卒業生は3名が出馬した。学校の取り組みを新聞報道や各メディアが報じ、町内の選挙に対する機運は高まった。(図3)立候補者の選挙戦に臨む士気は高まり、生徒では町内3名、由仁町1名の4名が立候補し全員が当選した。

選挙の結果から、議員の学校の取り組みは、地方議会議員のなり手不足解消の第一歩になったと考えられる。

項目	R5 (改選)	H23 (改選)
人口	11,006	13,326
定数	11	13
立候補者数	14	15
有権者数	9,574	11,202
投票者数	6,095	8,040
投票率	63.66	71.77
有効投票数	6,034	7,975
人口1,000人当	1.00	0.98
最高得票数	768	1,038
最低得票数	258	409

図表3 令和5年と前回の選挙結果

北海道新聞 2023年1月15日掲載

【栗山】全国初の議会基本条例を制定した議会改革の先進地、空知管内栗山町議会が、4月の統一地方選の町議選に向け、なり手不足対策の連続講座「議員の学校」(全6回)を1月20日に開校する。町議選が過去2回連続無投票だったことを受け、栗山町の議員を目指す人々や議会に関心がある人々にやりがいを紹介する内容で、道町村議連は「道内ではほかに見当たらず、先駆的な取り組み」と話す。

議員の役割や活動などを学ぶ2回の講義後、3〜5回目は通年議会の「3月定例会議」の現場を利用し、議会運営委員会、本会議一般質問、特別委員会を傍聴しても

議員なり手育成へ「学校」

らう。毎回終了後に懇談し、議員が受講者の質問に答える。最終回の「閉校式」は3月17日。

一般質問の回以外は各回約90分を予定。定例会議や特別委はライブ中継に加え録画のYouTube配信も行っており、毎回出席が難しい受講者でも議会内容をフォローできる。鶴川和彦議長(66)は「なり手不足対策は簡単でない。できることは何でもやる」と話す。選挙後も常設の「学校」としたい考えだ。

対象者は18歳以上で、町内外を問わず無料で参加できる。申し込みは2月15日までに町議会事務局。電話0123・73・7517(土屋孝浩)

**無投票続く栗山町議会**

**連続講座でやりがい紹介**

図3 「議員の学校」の新聞報道

### (2) 模擬議会の効果

模擬議会で良かった点は、2つに大別される。1つは、生徒が本会議の審議を経験することで、議員の役割の重要性を認識できたことである。

2つめは、我々現職議員が答弁者、説明員になることで、普段の質問や質疑に答弁するためには、事前準備や知識、答弁のスキルが必要であることが再認識できたことである。現職議員間でも今後の議会活動に役立つ知見が得られた。

今後は、答弁者も将来期待される若手職員で構成し、栗山町の議員・職員相互の研修が可能となる体制を検討してみる価値もある。

### (3) 馴染みやすい議会の空気

「議員の学校」を通じて、現職議員と生徒との人間関係の構築につながった。選挙後は、「生徒」だった新人議員の3名は、再選議員を知っていることで、早く馴染めたと感じられる。

議会は敷居が高いと言われ、特殊な職務であると言われるが、「議員の学校」が、その一助となったと考えられる。

#### (4) 教えることは教わること

「議員の学校」の「先生」となるには勉強が必要であり、知識の伝達にも正確度が求められることから、改めて議会に関する学習もした。学習をすることによって、町政や議会運営の参考となることも多く「教えることは教わること」だと実感した。

#### (5) 反省点と今後の課題

反省点や課題として3つを挙げる。

1つは、時間的に短期間の講座となったことである。栗山町議会では政策形成サイクルの樹立を目標として掲げている。理由は、議会活動は1年がサイクルだからだ。今後は1年間の期間として、カリキュラムや教材選定も準備し進めるべきと考える。

2つめは学校運営の体制である。教えることが一部の議員に偏ることで、政治信条や思想も伝わる機会が増える。その影響で、議員個々の権限や独自性を失わせてはならない。

また、議会サポーターの意見が反映される仕組みづくりはもとより、運営主体に議友会（議員OB会）、町民有識者を加え、系統町村議会議長会などの各種団体にも協力を仰ぎ、議員を養成することが重要であろう。「議員の学校」は、町内の政治機運を高める効果も期待できる。

3つめは、議会費で「議員の学校」の予算化が重要と考える。

今回の開催は手弁当である。次期開催形態は定まっていないものの、有識者による特別講義の開催、教材の充実、実行委員会などを設ければ費用弁償も必要になろう。活動体制を支えるには、最低限の予算を確保し、実施体制を整えるべきと考えている。

#### おわりに

私は、議会改革推進会議の座長として、研修計画や運営に関して一工夫が必要であったし、「担任教諭」として苦労したが、とても楽しい活動であった。成果・成功は運次第と何度も言い聞かせ、ガイダンスや解説に臨んだ。そんな中で、教え、教わる醍醐味は、何よりも優った。

選挙戦は厳しかったものの3名が当選し、現役議員として活動中だ。(図4)

また、教材として膨大な資料が作成されたが、これは議会の財産となった。現在は視察資料や、新人研修等で大いに役立っている。



図4 当選証書授与式 新聞報道

「議員の学校」は、町内外に向けて栗山町議会に対する理解も深める取り組みとなった。栗山町議会の先人達の切磋琢磨した政治の歴史と議会改革をいち早く推進し、積み上げてきた功績が、学校成功の土台となった。議会改革推進会議の設置、サポーター・モニター制度、一般会議や報告会等の開催、栗山町議会の活動の手数は多く、脈々と継続してきた議会改革の歴史の成果であると言える。

反省点や課題は残すが、先人達に負けぬよう工夫を凝らし、町民に信頼される豊かな議会を目指し、今後も改善と改革に邁進していきたい。

<参 考> 1 時間目に用いたテキストの一部を抜粋

②議会・議員の  
役割・権限

## 議員の権限と義務

---

議員の  
権限と  
義務

**議員の権限**

- ①議会招集請求権
- ②開議請求権
- ③**議案提出権**
  - ・団体（町）意思を決定するもの … 定数の12分の1以上
  - ・機関（議会）意思を決定するもの … 提出者含め2人以上（会議規則）
- ④動議提出権
- ⑤**発言権**
- ⑥**表決権**

**議員の義務**

- ①会議に出席する義務
- ②規律を守る義務
- ③懲罰に服する義務

2

③議会運営の実際

## 会議原則

---

1 **議事公開**の原則

7 **発言自由**の原則

2 **定足数**の原則

8 **討論一人一回・交互**の原則

3 **議員平等**の原則

9 **過半数**の原則

4 **会期継続**の原則

10 **現状維持**の原則

5 **一議事一議題**の原則

11 **可とするかと諮る**原則

6 **一時不再議**の原則

12 **表決は更正を許さざる**原則

4

# 栗山町議会

議員のなり手不足問題に挑む

## 「議員の学校」開校！



### 栗山町の概要

栗山町議会



### 開拓のはじめ

明治21年、現在の宮城県、仙台支藩の角田藩士24名が入植し、開拓の鋤を入れた。

(姉妹都市：宮城県角田市 S53提携)



### 町名の由来

ヤム・ニ・ウシ = 栗の木の繁茂しているところ

【町制施行】	昭和24年（旧角田村）
【人口】	10,776人（2024.4.1）
【世帯数】	5,700世帯（2024.4.1）
【面積】	203.93km <sup>2</sup>
【産業】	農業70億円、商工業450億円
【特産品】	米等農産物各種



※2020農業センサス、各種統計データ

平成27年・31年、**2度**に渡り、**町議会議員選挙なし**××



## 議員選挙時の議員定数・投票・人口の推移

	令和5年	平成31年	平成27年	平成23年
議員定数	11人	12人	12人	13人
立候補者数	14人	12人	12人	15人
投票率	63.66%	<b>無投票</b>	<b>無投票</b>	71.77%
最高得票数	768.163票	—	—	1,038票
最低得票数	168票	—	—	409票
人口	11,006人	11,762人	12,502人	13,326人
議員1人当たりの人口	1,000.5人	980.2人	1,041.8人	1,025.1人



3

# 調査特別委員会設置

全国に先駆けて「議会基本条例」を制定した栗山町議会としては由々しき事態！！

**なぜ、議員のなり手がいない???**



**調査**

**栗山町議会議員の報酬と定数に関する調査特別委員会設置**

(令和元年6月)

## ●小委員会2つを設置！

- ・報酬と定数を考える小委員会
- ・なり手問題を考える小委員会



4

## ●4年間の主な経過

年度	内容
令和元年度	4回開催 ● 参考人:首都大学東京准教授 長野 基氏、山梨学院大学教授 江藤俊昭氏から意見聴取
令和2年度	8回開催 (報酬と定数を考える小委員会 3回、なり手問題を考える小委員会 4回、全体 1回) ● 参考人:北海道大学名誉教授 神原 勝氏から意見聴取 ● 各小委員会では、議会モニターから意見聴取
令和3年度	6回開催(報酬と定数を考える小委員会 1回、なり手問題を考える小委員会 2回、全体 3回) ● 各小委員会では今後の方向性や議会モニターからの意見のまとめ ● 全体で自由討議
令和4年度	11回開催(全体 11回) ● 4回開催(2回は自由討議) ● 6月定例会議において中間報告 ● 報告まで7回開催(3回は自由討議) ● 12月定例会議において報告

**町民からの意見聴取**

- 議会モニター会議
- 議会報告会(3会場)
- 一般会議(14団体)
- パブリックコメント

# なり手不足の対応策

広報活動の強化！

議員アカデミーの実施による  
後継者育成！！



児童生徒を含む  
町民への総合的な  
主権者教育！

なり手問題を考える小委員会

**結論**

- ①報酬 → 維持
- ②定数 → 1名減 (12名→11名 令和5年4月選挙より)
- ③なり手不足 → 議会・議員の理解や魅力を伝える取り組み  
→ 議員を発掘・育成する取り組み

具体的な検討

## 議会改革推進会議

**「議員の学校」を開校！**

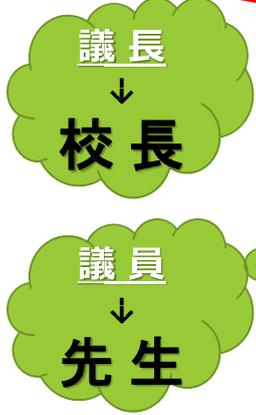


## 議員の学校 開校！

● 議員の学校の目的

議員の後継者育成として議会や議員に関心や志のある町民等を発掘、育成し、もって、議員のなり手不足の課題の解決に向けた一助として取り組むもの。

学校運営を模倣した体制に！



カリキュラム  
**全6回！**

◀ 議会改革推進会議



## 1時間目

### 議会のキホン ～議会と議員の役割について～

- ① 議院内閣制と二元代表制  
(国会と地方議会の違い)
- ② 町村議会と議員の役割・権限について
- ③ 議会運営の実際
- ④ 一般質問と反問権
- ⑤ 委員会制度
- ⑥ 政務活動費と議員の資質向上
- ⑦ 豊かな議会づくり～栗山町議会の議会改革の取り組みと議会基本条例について

## 2時間目

### 議員に聞いてみよう ～議員活動の実際～

- ① 選挙制度の概要
- ② 選挙費用等
- ③ 議員活動の実績
- **議員からの説明**  
・ 議員になった動機、仕事の両立等

## 3時間目

### 傍聴してみよう ～議会運営委員会～

- ・ 議会運営の流れ、委員会の役割  
審議内容等
- ・ 質疑応答

## 4時間目

### 傍聴してみよう ～一般質問編～

- ・ 一般質問の定義、目的、実践手法
- ・ 質疑応答

## 5時間目

### 傍聴してみよう ～予算審査特別委員会～

- ・ 特別委員会の運営、役割、審議内容等
- ・ 質疑応答





6時間目

## 体験してみよう 模擬議会

- ・ 自由闊達な意見
- ・ 教材は2月臨時会議
- ・ オンデマンドが参考書
- ・ 受講者19名のうち希望者で
- ・ 閉校式



# 議員の学校 受講者 19名

受講者の年代別・性別構成

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計	平均
男	1人	1人	5人	7人	1人	2人	17人	51.1歳
女	0人	1人	0人	0人	0人	1人	2人	56歳
合計	1人	2人	5人	7人	1人	3人	19人	51.6歳

<参考> 町内受講者

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	合計
男	0人	1人	3人	5人	0人	1人	10人
女	0人	0人	0人	0人	0人	1人	1人
合計	0人	1人	3人	5人	0人	2人	11人

栗山町  
立候補 3名

近隣 由仁町  
立候補 1名

4名

